

2019～2020年度 RIテーマ



2019～2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・
マローニー

ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度 クラブテーマ

Restart!

創立60周年 第2ステージの始まり
2019-2020
東京立川ロータリークラブ
会長 長井 守



卓話講師の谷口西欧様と一緒に

【会長挨拶】 長井 守 会長

先日、50周年を経て公開されております「男はつらいよ お帰り寅さん」を観て参りましたので、今日はその話を致します。今回の映画の内容はここではあえて詳しく説明致しませんが、寅さんの甥である満男と満男がかつて思いを寄せていた後藤久美子さん演じるイズミのその後の物語として、別々な人生を歩んできた二人を軸に今までの回想シーンと共に展開しています。

山田洋二監督の寅さんシリーズには、いつも共通のパターンがあります。旅先で出会うマドンナに恋するも大きな勘違いから失恋し、傷心の寅次郎はまた旅に出るというものです。この映画の人気の高さは、やはり何といっても寅次郎のキャラクターにあります。人情深く根っからのお人好し、自由奔放な寅次郎に、ひと時の現実逃避をするのかもしれませんが。そこに「とらや」の穏やかな人情喜劇と、寅次郎の落語のような名調子が更にこの作品を盛り立てています。実際に露天商の経験を持つ渥美清さんの見事な口上も絶品です。生前、渥美清さんはこんな言葉を残しています。「ボクサーはいいよなあ、タオルを投げしてくれる人がいるからね。役者は自分でタオルを投げなきゃならないから。」とまさに引き際の難しさを暗示している言葉です。この時すでに癌に冒され、最後となった48作目の宿泊先の女将が差し出した色紙に、ペンも持てないほど体力も気力も消尽していたそうですから、いつかは投げるタオルを握りしめながら銀幕というリングに上がり続けた渥美清さんのすさまじい生き様を感じます。山田洋二監督は「男はつらいよ」の作品すべてに『夕焼け空』の場面を入れています。そして、東京小金井RCのバスター会長の星野哲郎さんが作詞したこの映画の主題歌にも「奮闘努力の甲斐も無く 今日涙 今日涙の日が落ちる」と夕日が使われています。戦後の苦難の時期を寅次郎の夕焼けに希望の灯をたくしたのかもしれませんが。古びたトランク片手にその人は、今もどこかで茜雲の下を旅している事でしょう。「それを言っちゃあおしまいよ」、そっと聞こえてくる寅次郎流の言葉は気の短い私の心の妙薬になっています。

【お客様の紹介】 長井 守 会長

谷口西欧 様

(特定非営利活動(NPO)法人あかりえ 代表)

太田嘉正 様

(国際ロータリー第2750地区
奉仕プログラム委員会 奉仕のつどい
実行委員長)

中野隆右 様

(東京立川こびしRC)



長井 守 会長

【司会進行】

SAA委員会 志村和則 委員

【開会点鐘】 長井 守 会長

【ロータリーソング斉唱】

『それこそロータリー』

【お客様の紹介】 長井 守 会長

【会長挨拶】 長井 守 会長

【お客様ご挨拶】

国際ロータリー第2750地区
奉仕プログラム委員会 奉仕のつどい
実行委員長 太田嘉正 様

【幹事報告】 中山賢一 幹事

【委員会報告】

立川ロータリークラブスキー同好会
岡部直士さん

創立60周年記念式典準備委員会
金子幹広 委員

【ニコニコ発表】

親睦委員会 宇多村純一 委員

【出席率の発表】

出席委員会 金原宏和 委員

会 員 数	122名
出席義務会員	113名
出席免除会員	9名
当日出席者	105名
出席免除会員の当日出席者	6名
出席率	88.24%
1月10日の出席率	84.87% → 100%

【卓話】

特定非営利活動(NPO)法人
あかりえ 代表 谷口西欧 様

【閉会点鐘】 長井 守 会長

例会場:パレスホテル立川(立川市曙町2-40-15)
例会開催日:毎週金曜日 開会点鐘 12:30
会報担当者:杉山正樹
発行者:長井 守

事務局:立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】http://www.tachikawa-rc.org/
【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp



例会時には必ずバッジをつけましょう



司会進行
志村和則 委員



ニコニコ発表
宇多村純一 委員



出席率の発表
金原宏和 委員

【お客様ご挨拶】

国際ロータリー第2750地区 奉仕プログラム委員会 奉仕のつどい 実行委員長 太田嘉正 様

3月27日に赤坂のコミュニティプラザで「第7回奉仕のつどい」を開催致します。是非ご参加頂き奉仕とは何かをご理解頂ければ幸いです。特に入会間もない会員は、ロータリーとはと疑問もあるかと思しますので、そのような方々に参加頂けると、非常に参考になるプログラムと思います。登録費は無料でメイクアップの対象となります。今回初の発表が13あります。国際奉仕・職業奉仕・青少年奉仕・米山記念奨学・2020支援委員会からなどのプログラムとなります。是非ご参加下さいませようご案内致します。



【幹事報告】 中山賢一 幹事

●本日クラブバナーの無記名投票。未投票の方は例会終了後に投票を●本日職業奉仕委員会炉辺開催●1/27(月)親睦委員会炉辺開催予定●1/30(木)第9回多摩中G協議会開催予定。会長・幹事で出席



【委員会報告】

立川IRCスキー同好会 岡部直士さん

第31回スキー・スノボツアーですが、先週金曜で締め切りをさせて頂きましたが、総勢35名で楽しく滑って参りたいと思います。岩鞍スキーリゾートは上部で120cm中間部でも85cmの積雪があり、雪不足の中でも積雪は豊富で、16全コースオープンされています。おいでになる方は一部凍結があるという事ですので、お気をつけて頂ければと思います。色々な方々から応援を頂いておりますがまだまだの状況ですので、お心づけを頂ける方は喜んで受けさせて頂きます。



創立60周年記念式典準備委員会 金子幹広 委員

周年式典を前にお願いで登壇しましたが、現在委員会では当日の映像資料を準備しておりますが、その際に会員皆様の笑顔の写真を使用たく、写真の撮影をさせて頂きます。来週より例会の場が中心となりますが、お声掛けさせて頂きますので是非撮影のご協力をお願い致します。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 宇多村純一 委員

- 国際ロータリー第2750地区 奉仕プログラム委員会 奉仕のつどい 実行委員長 太田嘉正 様 地区行事 奉仕のつどいのPRに参りました。すばらしい活気のあるClubですね。有難うございます。
- 東京立川こぶしLRC 中野隆右 様 令和二年も度々お邪魔致しますので、宜しくお願いします。
- 長井 守会長 谷口様、本日はお忙しいところお越し頂き有難うございます。お客様のご来訪を歓迎致します。
- 中山賢一幹事 谷口西歐様、本日の卓話宜しくお願い致します。クラブバナーの投票、宜しくお願い致します。
- 石尾典久さん フードドライブ活動に対して、ニコニコを致します。
- 岡部直士さん 結婚記念日のお祝いを有難うございます。40周年です。又、ロータリーのスキーツアー35名のご参加、有難うございます。お心づけ、喜んでお受け致します。
- 清水千春さん 誕生日のプレゼント、有難うございます。
- 馬場欽次さん 結婚記念日のお祝いを有難うございます。
- 益子悦雄さん 地区青少年交換委員会で大変お世話になりました、太田さんのご来訪歓迎致します。御ゆっくりしてってください。
- 三田村秀雄さん 誕生日のお祝いを有難うございます。
- 岩田明彦さん 谷口さん、本日はご多忙の中、有難うございます。農業への熱い想い、卓話楽しみにしています。
- 榎井隆行さん 妻の誕生日に結構な品を頂き有難うございます。冷えた仲にぬくもりを。

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 岩田明彦 委員

谷口さんは1976年スペインバルセロナで生まれ、そこで6年間暮らしまして現在は44歳です。自由の森学園高校、京都精華大学卒業後、教育雑貨店スタディールーム店長を務められており、それがきっかけでルミネと関わって頂いておりました。その後郵便局、環境系制作会社等多様なご経験を経て、現在は埼玉県小川町を中心に、地域コーディネーター、ファシリテーターとしてご活躍されています。その他まちづくり事業、教育環境プログラムの開発、伝統工芸の商品開発、ソーシャルプロジェクトの立ち上げから運営に至るまでのコンサルタント業務等幅広い分野でご活躍されています。その他音楽活動もされています。現在ルミネでは小川町に毎年お邪魔して田植えと稲刈りを社員がしております。このコーディネートも谷口様です。



卓話
「多様性と農的くらしのまちづくり」
谷口西歐 様
(特定非営利活動(NPO)法人あかりえ 代表)



埼玉県小川町から来ました谷口西歐です。「NPO法人あかりえ」の代表を務めておりますが、立ち上げて1年弱です。個人の活動や仲間との活動は以前から行なっておりましたが、改めて法人化する必要が出てきて昨年立ち上げに至りました。

小川町は埼玉県のほぼ中央に位置しており、池袋から電車で70分程度です。近くには秩父の山が多くあるので、山奥といった印象も有るかと思いますが、地図上は中心近くであります。

小川町とは

この街はかつて宿場町とて栄えた歴史がありまして、鎌倉街道の一部が旧道として街を横切っており、八王子道や秩父往還道としての要衝でした。人口は約3万人弱で、消滅可能性都市となっています。20~39歳までの女性が2040年までに半減する率の指標で全国がランク付けされています。小川町は埼玉県で第2位、県1位は隣町の東秩父村、南側にあるときがわ町が第3位という事で、近隣が上位を独占している状況でございます。広さは約60Km²で世田谷区とほぼ同じ大きさですが、世田谷の人口90万人に対し3万人であり、人口密度はとても低いところですよ。

ルミネさんにも田植えに来て頂いておりますが、日本の原風景がまだまだ残っている地域であり、なおかつ小京都と呼ばれる場所もあります。埼玉で2ヶ所ある小京都の1つが小川町です。もう一つは嵐山町で京都の嵐山溪谷に似ているという事です。

手漉き和紙の産地

和紙が有名で、楮晒(かつさあし)という漉いた

本日合計 49,000円 本年度累計 2,003,000円

和紙を川で洗っていた昔の絵も残っております。正倉院では「武蔵の地で漉いた紙が～」という文献が残っていますので、1,500年の歴史があると言われ、平成26年にはユネスコの無形文化遺産にも登録されています。



実は日本酒も有名でありまして生産量は日本で第5位です。現在ある埼玉県酒蔵の35の内3つは小川町にあり、日本酒には新潟系と近江系がありますが、ここは全て新潟系で100年製造されています。3つの酒蔵からは有機栽培されたお米から作られる日本酒がありますが、その他にも有機栽培のコーヒー・地ビール・大豆を使った豆腐やおからドーナツ、ワイナリーも昨年出来ており、行政主導ではなく、有機栽培49年の歴史が共感を産んで人々が集まっており、原料の栽培から加工・レストランも含めて循環型という様な生産者が繋がるオーガニックタウンとも言うべき街になってきております。

小川町の再生を考える

そんな小川町でNPOを立ち上げましたが、いま国・街の総合戦略で「まち・ひと・しごと」というのがありまして、現在前後期各5年の中間期になっており、小川町でも「結婚・出産・子育て」を加え、四つの柱による総合戦略を打ち立てております。

何故この地でNPOを発足したのかといえば、民間だけでなく行政・企業と連携していく場合に、公益性の高い法人を選択し総合戦略に沿ってミッションを立ち上げたのです。まず「子育てのミッション」として「子どもの“好き”が見つかるまち」を掲げております。自然も豊ですし、食の安全安心といった観点からも子育てしやすいという魅力はあると思います。とは言え都心から1時間以上掛かり、本屋も町に1軒程度で細々経営されている状況ですので、もっと結びつきが強固になるような人との出会いの場が増えればと考え、「多様な価値観や人との出会いの場をつくる」というミッションを掲げております。

小川町の世帯数は12,000程度ですが、なんと空き家が1,600もあるという事で、世帯の1割以上に上ります。この空き家を利用してマイクロライブラリーやマイクロシアター、ライブハウスやギャラリー、伝統産業等のコラボ等々で活用しようとしています。ネットで通じるという事ではなく、人と人が直接的に出会えて、生き方や考え方を学べる機会を、学校の帰り道やその導線に散りばめたいと考えております。



事例を紹介しますと、町にある石倉は昔タバコの葉の貯蔵に使われていましたが、ここを借りて映画上映をしております。先日は川越の有機農家のドキュメンタリー映画を上映し、上映後に監督や農家の方・学生のボランティア方も交えてトークセッションを開催致しました。こういった場が世界中のプロフェッショナル、クリエイティブな人との出会いのチャンスになれば良いと思えました。子どもや学生等若い人達に対し知的好奇心がそえられる機会を作っていきたいと思えます。



映画の上映会とトークセッションの様子

小川町で暮らしていくためのビジョン

続いて「しごとづくり」についてですが、小川町の現実は駅前もシャッター街である人口3万弱の町では、大きな経済活動もすぐに見込めるわけではありません。経済活動だけに捉われ過ぎずスモールスタートの出来る、元気で創造的な働き方が出来、子どもが町に残りたいと思ってもらえる様な町が出来ないかと考えています。

仕事には「Labor:やらされ仕事」、「Job:こなす仕事」、「Work:笑顔でする仕事」、「Play:ワクワクする仕事」と色々ありますが、出来る限りWorkとPlayを増やしたいと思えます。子どもや学生に出合う機会を作り、地元でも充分仕事をして成り立つと理解してもらい、この町を選択肢の1つにしてもらえたらと思っております。つい最近は一念発起して空き家を借りて、民泊用の宿として使用しております。改築には地元学生の手を借りました。



街づくりのビジョンは「暮らすだけで里山の風景がどんどん美しくなるまち」を掲げておりますが、町の半分は山で価値は低く、農業では耕作放棄地も多く、何とか一般生活者が山と農地に関わる仕組みを町の社会生活に取り込めないかと考えた中で掲げたビジョンです。地元高齢の方々には皆口を揃えて「昔の山はとても美しかった」と言います。そこで山や農地に我々が関わる最初として「農的暮らしの入口を増やす」というミッションを掲げております。単純に暮らしの中に畑が見えるという所から、家業として農家を営むといより半分農家や週末農園・市民農園といった層を増やせないかと考えています。土作りの際には山の落ち葉を利用するなど、土作りの素性が見える中で安心安全な野

菜を作ると事を進めております。地元住民の半数は40年前にニュータウンとして開発された時代からの方々に、残り半数の方が数代に渡る地つきの方です。ニュータウン開発時からマンション住まいという方は農作業する土地も機会もありませんので、耕作の機会や農的な暮らしのチャンスを作りたいと考えております。またコミュニティガーデンといって、ボックス毎に菜園を貸してもらえ、制度の実施や、クラインガルテンと言われる住居も農地も借りられる制度等が導入出来ないかと思っています。



空き家の問題は、実は最近建てられているニュータウンの方がむしろ深刻で、こういった所を活用して農地とセットにして、週末だけでも帰ってきて活用して頂きたいと思っています。

最後に「人の流れ」のビジョンですが、「人の創造性と活力、想像力を刺激する町」を掲げております。これはこの町には驚くほど伝統的風習や里山文化やお祭り等多く残っていますので、多くの方々の協力を得てワークショップを開催しております。実際に味噌作りでは麴を返す際に杜氏の方が麴に話しかけている事もあり、都市に暮らしている時にはない目に見えにくいものを体験メニューに入れていき、日帰りから一泊二日の町にするという活動を推進しております。わざわざ泊らなくても日帰りで充分だと考えられてしまう所を、町を一つの宿と見立てて、空き家や空き店舗をホテルの一室として活用しながら、町ぐるみで宿泊客をもてなす事により、地域の活性化促進に繋げる事を「まちやどプロジェクト」として実験的に開始しております。宿泊場所では食事を出しませんが地域の飲食店や農家と連携して食事を提供出来る体制を構築し、持続可能な社会の実現として学びあえる場作りをこれからもしていきたいと思っております。ご静聴有難うございました。



親睦とクラブ活動の源(みなもと)
「炉辺会合」沸騰中! Part3

1/21(火) 創立60周年記念式典準備委員会・炉辺会合開催



2020.4.3記念式典がいよいよ視界に入った。担当する準備委員会の第8回炉辺会合がパレスホテル川川「樺」にて18:30より、坂村英之委員長を含めたメンバー8名、並びに長井守会長同席で開催された。当日は式典・祝賀会の各セクション(A~I)責任者からの現状報告～案内状フォーム・招待者リスト・リーフレットのデザイン・記念品の選定等々～がなされ、その後活発な質疑応答が行われた。各委員の熱のこもった現状報告を拝聴し、当日の盛会・成功を確信した。

(取材担当:クラブ会報委員会/中山賢二)

【フードドライブ活動報告】

1月24日(金)例会受付脇にて社会奉仕委員会が担当する、フードドライブ活動(夏編)に引き続き、フードドライブ活動(冬編)が実施されました。75名の会員から品物が提供され、全体の品物重量は238.5kgとなりました!

～もったいない!をありがとう!へ～

フードドライブ活動(冬編)～善意の238.5kg～



社会奉仕委員会の皆様



提供頂いた品物を社会福祉協議会の車両へ



【クラブ新バナー投票 1月24日(金)】

クラブ新バナー制作に向け22のデザインが出揃い、無記名投票が行われました。1月31日(金)に再度6つのデザインで投票が行われます。

